

RoboCup

レスキューロボット リーグキャンプ2010

2010.9.19日 10:00~18:00 • 20月祝 10:00~16:00

レスキューロボットリーグキャンプ2010は、通常の競技会とは異なり、ロボカップレスキューロボットリーグに参加するチームの研究者や学生が集まり、レスキューロボットや本大会に関する様々な情報交換や発表を行います。また、一般の皆様にも活動やレスキューロボットをもっとよく知っていただくため、模擬競技やデモンストレーションを行うと同時に、ロボット操縦体験や工作体験も開催いたします。皆様のご来場をお待ちしています！

- 参加チームによるデモンストレーション、模擬競技
- ロボット工作体験(対象:小学生) **事前予約制**
- 技術交流・ガイダンス
- レスキューロボットの操作体験

※工作体験のみ事前申込が必要です。詳しくは表面をご覧ください。

ロボカップとは

自律移動ロボットを使ったサッカー競技を題材として始まった、ロボット工学や人工知能の研究を推進する国際的なプロジェクトです。世界40カ国以上で4000人以上の研究者や学生が参加しています。現在はサッカーだけでなく災害救助活動に役立てる事を目的とした「ロボカップレスキュー」や18歳以上を対象に次代の研究者を育成するための「ロボカップジュニア」などで構成されています。

ロボカップレスキューとは

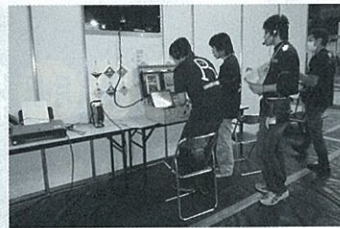
ロボカップサッカーで培った技術を災害救助に利用しようとするプロジェクト。地震などの大規模災害を想定して救助戦略を発展させようとするシミュレーション(シミュレーションリーグ)と災害現場で救助に役立つ情報収集が可能なロボットの開発を推進する活動(ロボットリーグ)があります。今回のキャンプにはこのレスキューロボットリーグに参加しているチームの研究者や学生が集まります。

ロボカップレスキューロボットリーグの競技の流れ

災害現場を模したフィールドで、ロボットが災害救助活動のスピードと精度を競い合う競技です。遠隔操縦/自律ロボットで与えられた時間内でフィールド内を探索します。同時に救助に役立つ地図も作成します。時間内でたくさんの要救助者を発見し、かつその情報の精度が高いほど高得点となります。ただしロボットが二次災害を引き起こす可能性のある行動(壁・要救助者にぶつかる等)をした場合は減点となります。今年は、5月2日~4日にかけて、大阪工業大学を会場に本大会が開催されました。(http://www.robocup-japanopen.org/)



被災地を模したフィールド
決められた時間内で探索活動を行います



操縦席からフィールドは見えません



要救助者発見です



救助者を発見したらその情報を審判に
正確に伝えます。

アクセス



■ JR柏崎駅からのアクセス

- 車(10分)または路線バス
(路線バス) ()内は、所要時間
- ・ JR柏崎駅南口
「新潟工科大学線」終点下車(約15分)
 - ・ JR柏崎駅南口
「工大~産業大~安田駅線」
工大大入口下車(約15分)
 - ・ JR柏崎駅北口
「久米線」工大大入口下車(約20分)
- ※路線バスの本数は限られています。ご注意ください。

会場

